

## 京都サマープログラム2017

カイリナ・ヌル・アイニ  
インドネシア大学人文科学部3年  
July 31 - August 10, 2017

私は2週間このプログラムに参加する機会を与えてもらい、とても嬉しく思っています。日本の古典文学に深い関心を持っているので、私は湯川志貴子先生の授業のスケジュールを見て、日本学科としてとても嬉しく思いました。日本に来るまでは、授業やインターネットから詩の歴史や意味を学んだだけでした。湯川志貴子先生の授業に参加し、短歌の中には、春、夏、秋、冬の、日本の4つの明確な季節の言葉が入っていることを学びました。季節についての言葉はその季節を代表しており、作られた短歌に必ず入れられています。湯川志貴子先生の授業が、古典短歌の背景にある深い意味を探求するという目標を私に与えてくれたので、これをテーマとして卒業論文を執筆する予定です。

京都大学では少数派であるムスリムとして、プログラム中の2週間にたくさんのおもてなしを体験しました。たとえば、京都大学の近くにあるお祈りの場所や、食堂のハラール・フード、歓送会での食べ物などです。

このプログラムの内容は興味深いと思います。特に、下橋美和先生が教えてくれた日本語Iのクラスでのメールを書く方法です。下橋美和先生の教え方は分かりやすく、親切で、それでいて授業内容も面白かったです。日本語でメールを書くときは、さまざまな項目が大切だと思いました。実際、私の次の学期のクラスでは、メールを書く方法について学ぶことになるので、既にスタートを切ることができとてもうれしいです。